

「新たな公共交通」の本格運行について

令和7年11月から「新たな公共交通」として、市街地にはAIデマンド交通のプレ運行、また、市街地と各地域を結ぶ「デマンドタクシー」については、三吉地区、開地地区、宝地区に新路線を引き、既存の東桂地区路線と禾生・盛里地区路線を拡充し、実証運行をしてまいりました。

実証運行中に市民の皆さまからいただいたご意見を踏まえ、停留所の増加や時刻表の調整を行い、令和8年4月1日より「新たな公共交通」の本格運行を開始する予定です。

これに伴い、循環線、宝鉦山線、菅野道志線、道の駅つる線は運行休止となります。
(本市と大月市とを結ぶ「都留大月線」、本市と道志村とを結ぶ「都留月夜野線」は継続運行となります)

なお、「都留月夜野線」につきましては道志村により継続運行となりますが、両市村の間で「公共交通の相互利用に関する協定」を締結し、引き続き都留市民も利用可能とすることで、交通手段の利便性を高める予定となっております。

<新たな公共交通 運行条件>

■運賃

一般:300円、小児(小学生)・障がい者:150円、乳幼児:無料

■運行形態

AIデマンド交通「AI(アイ)つる〜と」2台

デマンドタクシー(三吉、東桂、開地、宝、禾生・盛里)5台

■運行車両

タクシー車両(5人乗り)

社会人のための生涯学習プログラム シリウスカレッジ

シリウスカレッジは、本市が「大学コンソーシアムつる」の協力を得て開校している社会人のための大学です。市内にある大学等の先生方が講師となり、年間を通して各学校の専門性を活かした様々な講座を行っています。今年度は、「ふるさとUPコース」、「ライフUPコース」の2つのコースを開講し、都留市や山梨県を取り巻く現状と課題、日常生活に関わる課題などについて、講義や実習、仲間とのグループワークを通して幅広く学びました。1年間の学習成果のまとめを教育プラザ都留1階ロビーに3月末まで展示していますので、ぜひご覧ください。



シリウスカレッジ公開講座 参加者募集！

シリウスカレッジの講座を体験していただける公開講座を開催します！

「地域社会のつくり方―「地域資源」と「価値のデザイン」―

持続可能なまちづくり、一体どのようなまちづくりなのでしょう？本講座では、講義で新たな価値をデザインする手法を学びながら、参加者同士の対話やグループワークを通じて、都留の豊かな資源を再発見し、持続可能なまちづくりへの第一歩を体験します。

- 日 時 令和8年3月11日(水)18時30分～20時
場 所 都留文科大学 6号館 3階 6304教室
講 師 都留文科大学 教養学部地域社会学科 教授 同 地域交流研究センター長
鈴木健大氏
対 象 本市在住または在勤の18歳以上の方(学生を除く)
定 員 30名(先着順)
費 用 無料
申込方法 生涯学習担当までお電話にてお申し込みください。
申込期間 ~3月9日(金) 平日8時30分～17時15分

令和7年度 都留市民大学 シリウスカレッジ 体験版 無料公開講座

シリウスカレッジって??

都留市が「大学コンソーシアムつる」の協力を得て開校している社会人のための大学です。都留文科大学、健康科学大学、産業技術短期大学の先生方が講師となり、年間を通して各学校の専門性を活かしたさまざまな講座を行っています。次年度の開講に向け、皆さまが本学を気軽に体験できる【公開講座】をご用意しました。あなたの知性と経験を活かし、ふるさと都留を明るく照らしてみませんか？

▼こんな人におすすめ！！

- ✓まちづくりについて学びたい
- ✓都留市のために何かしたい
- ✓人脈を広げたい



講座

地域社会のつくり方

～「地域資源」と「価値のデザイン」～

講師

鈴木 健大氏

都留文科大学 教養学部地域社会学科 教授
同 地域交流研究センター長



鈴木 健大氏

持続可能なまちづくりとは、一体どのようなまちづくりなのでしょうか？本講座では、講義で新たな価値をデザインする手法を学びながら、参加者同士の対話やグループワークを通じて、都留の豊かな資源を再発見し、持続可能なまちづくりへの第一歩を体験します。

日時

令和8年
3月11日(水)

場所

都留文科大学6号館
3階 6304教室

対象

本市在住または在勤の
18歳以上の方
(学生を除く)

定員

30名(先着順)

【申し込み・問い合わせ先】

都留市教育委員会 生涯学習課生涯学習担当

☎0554-43-1111 【申込期限】3月9日(月)まで



SIRIUS COLLEGE



ミュージアム都留企画展「みち ～都留を歩き交うヒトやモノ～」

会 期:令和8年4月18日(土)～6月7日(日)

※休館日:月曜日、祝日の翌日、第3火曜日(館内整理日)

入館料:無料

都留は古くから人々が行き交う地でした。都留の内外をつなぐ道は、歩道や車道、高速道路や鉄道など、時代によって変化しています。また、その時々によって、人々が都留を訪れる理由や、道を使って運搬される物は、観光や産業などの様々な目的で変化しています。

本企画展では「道＝みち」について、時代によって都留を訪れる「人＝ヒト」や「物＝モノ」などを切り口に、様々な「みち」が作られてきた変遷を辿ります。

関連イベント

・富士道歩き(ミュージアム都留～東桂駅)

富士道を実際に歩きながら、「みち」の歴史を学びましょう。

日程 5月2日(土)10:00～12:30

定員 10名

参加費 100円(保険料)

※帰りの電車を利用される場合は電車代自己負担でお願いいたします。

※歩きやすい服装、水分補給ができるものをお持ちください。

※雨天中止

・ギャラリートーク

本展示について担当学芸員による展示解説を行います。

日程:5月3日(日)14:00～14:30

5月4日(月・祝) 14:00～14:30

定員 10名(各回)

事前予約制 申し込み連絡先

TEL:0554-45-8008

Mail:tsuhaku@city.tsuru.lg.jp



第44回都留市社会福祉大会の開催について

都留市社会福祉協議会では、社会福祉関係者が一同に会し、今日まで社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表することを目的に標記大会が開催されます。

記

日時：令和8年3月4日(水)午後1時30分

会場：都の杜 うぐいすホール(小ホール) 〒402-0053 都留市上谷 1888-1

内容：式典

顕彰 表彰

講演 講師 フリーアナウンサー／健康・防災アドバイザー

小久保 晴代 氏

テーマ「介護予防・認知症予防として、何をすべきか！

～快適な日々を送るために～」

第4 4回都留市社会福祉大会開催要項

1 趣 旨

本市社会福祉関係者が一堂に会し、本大会を契機に今後の社会福祉の推進方向を探るとともに、今日まで社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表することを目的に開催する。

2 期 日 令和8年3月4日（水）午後1時30分

3 会 場 都の杜 うぐいすホール（小ホール）
〒402-0053 都留市上谷 1888-1

4 内 容 式 典
顕彰 表彰

講 演

講 師 フリーアナウンサー／健康・防災アドバイザー
小久保 晴代 氏

テーマ 「介護予防・認知症予防として、何をすべきか！
～快適な日々を送るために～」

5 主 催 社会福祉法人 都留市社会福祉協議会
都留市老人クラブ連合会

7 後 援 都留市 都留市議会 都留市教育委員会
都留ライオンズクラブ 都留ロータリークラブ
社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会
一般社団法人 都留青年会議所

8 参加者 社会福祉協議会関係者 民生委員・児童委員
社会福祉施設・団体関係者 行政関係者 ボランティア
その他社会福祉に関心を有するもの

災害ボランティアセンター県内社協合同運営訓練の開催について

近年、全国各地では多くの自然災害による大規模災害が発生しており、平成26年には、山梨県において豪雪災害が発生したことに伴い、都留市社会福祉協議会では、都留市災害対策本部からの要請を受け、災害ボランティアセンターを開設し、多くの災害ボランティアが駆け付け復旧・復興に向け被災者支援が実践されました。

被災地において、社会福祉協議会が中心となり設置・運営する「災害ボランティアセンター」が、市内外より多くの災害ボランティアを受け入れ、被災者からのニーズと災害ボランティアを繋げ、円滑に被災者本位の支援活動の展開を図るという役割を担います。

今回は、災害ボランティアセンター開設初期における、被災地外からの応援職員の受援を含めた、災害ボランティアセンター運営に関する訓練の実施を目的とします。

2 主催 社会福祉法人 都留市社会福祉協議会

3 協力 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会

4 日時 令和8年3月12日(木) 午前9時から12時15分

5 会場 いきいきプラザ都留3階 研修室

6 対象 40名程度

■災害ボランティアセンター運営役として

都留市社会福祉協議会職員及び被災地外社会福祉協議会職員

■災害ボランティア役として

ボランティア連絡会会員

自主防災会

その他災害ボランティアセンターに興味・関心がある者

災害ボランティアセンター 県内社協合同運営訓練

3月12日（木）

9：00～12：15

いきいきプラザ都留
3階 研修室



対 象

自主防災会 会員

ボランティア連絡会 会員

※1団体3名まで

その他災害ボランティアセンターに興味・関心がある方

持ちもの

飲み物、タオル、筆記用具

動きやすい服装でお越しください

定 員

先着40名程度

申込期限

3月6日（金）まで

☎0554(46)5115

都留市社会福祉協議会



本事業は赤い羽根共同募金配分金などにより実施されています。

災害ボランティアセンターとは・・・

地域の復興につなげていくことを目的に、
被災地での災害ボランティア活動を
円滑に進めるための拠点です。

今回の訓練における場面設定

- ①市内で大雨による土砂災害が発生
- ②都留市社協に災害ボランティアセンターを開設
- ③都留市社協職員が不足しているため、県内の市町村社協職員が応援派遣される
- ④当日派遣されたばかりの職員とともに、ボランティアの受け入れから送り出しまでの一連の運営を行う

より良い運営体制の構築のため、参加者の皆さまには災害ボランティア役として一連の流れを経験し、ボランティア目線でのご意見を頂きたいと思っております。

プログラム

- 8：30 受付開始
- 9：00 開会・オリエンテーション
- 9：30 休憩
- 9：45 災害ボランティアセンター運営訓練（1回目）
*ボランティア役として参加して頂きます。
- 10：30 訓練振り返り
- 10：45 休憩
- 11：00 災害ボランティアセンター運営訓練（2回目）
*1回目の振り返りを基に、改善した訓練を実施します。
- 12：00 まとめ
- 12：15 閉会

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税） における寄附受領書交付式について

令和8年2月27日（金）市長公室にて、都留市に寄附された、「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）」の寄附受領証交付式を行います。

交付式の詳細は下記のとおりです。ぜひご取材くださいますようお願いいたします。

※取材にお越しいただける場合には2月25日（水）までに下記問い合わせ先あて、ご連絡をいただけますと幸いです。

記

1 寄附について

（1）寄附の申出者及び寄附金の額及び寄附を活用して実施する事業

寄附の申出者 東八防災株式会社 代表取締役 宮本 雄一 様

寄付金の額 200,000円

寄附を活用して実施する事業

「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」創生事業の「教育首都 つる」の実現に向けて、小中学校の体育館に熱中症予防を目的とした大型送風機（ビッグファン）の設置を行う。

（2）寄附の受領者

都留市長 日向 美德

2 日 時

令和8年2月27日（金）16時～

3 場 所

市役所2階 市長公室